

課題になっている行動 (気になる行動)

# こだわりが強い

こ

「1つに集中できる」を探してほしい

「こだわりが強い」と否定する前に



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 様々な状況の変化 予告の提示、見通しのない周囲の状況や環境、日課などの変化・変更</li> <li>■ 影響を与える刺激や情報 生活の中で曖昧な指示が多い</li> <li>■ 必要な支援がない 本人にあわせた指示、基準の提示などが無い</li> <li>■ その他 こだわりを無理にやめさせようとするアプローチ こだわりを活用した活動や支援がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社会性・対人関係の特性：周囲の状況にあわせた対応が難しい</li> <li>■ 全体よりも細部に注目する特性：1つの状態等に強く注目する。</li> <li>■ 関係理解 (意味理解) ・<u>一般化の困難さ：1つのことを1つの視点に強く結びつける</u></li> <li>■ 想像思考の困難さ：柔軟なイメージが難しい</li> <li>■ 変化の対応の特性：<u>整然とした状態を保持しようとする</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 習慣になっているものがある 1つの状況を変化しないようにすることが習慣になっている。</li> <li>■ 自分流の気づき・考え方をもつ いつも同じにすることで、見通し、わかりやすい状況をつくる</li> <li>■ 過去に経験したこと学んだこと いつも同じであることで、変化がなく安心した経験</li> <li>■ 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること 無理に変更されたり、こだわりをやめさせようとするアプローチに対する恐怖や嫌悪感、不安</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行動前の状況※ 曖昧でわかりにくい指示 予告などが無い変化・変更</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行動後の状況・結果※ 変化がないことの安心 わかりやすい状況</li> </ul> <p>支援者の無理にこだわりをやめさせるアプローチ</p>

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
スケジュールやワークシステムを活用している。	絵、写真、具体物の理解 印などをあわせることができる 容器で境界をイメージできる	こだわりがある (強み) いつも同じが好き

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？ ・物の位置は、印や容器などで指示する	本人の特性にあわせた支援は？ ・本人のこだわりを活用した活動を設定する。 ・具体的でイメージできる形で予告、変更を視覚的に伝える。	本人に伝える・教える部分は？ ・エラー修正は、予告、変更、物の位置などを強調する。指示に注目できない時に無理に修正しない。

解説と支援の方向性について

自閉症のよく言われる特性として「こだわり」があります。繰り返しや、1つの状態を保持しようとする特性がみられます。しかし、自閉症の人の特性は弱みと強みが紙一重です。「こだわり」というと弱みに聞こえますが、「1つに集中できる」というと強みになります。「1つの集中できる」を探すことは、教育・支援の上で重要ですね。